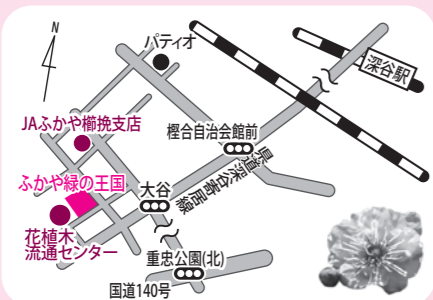


ガーデンシティふかや推進室[ふかや緑の王国・深谷市榑引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!



※施設内の駐車場は利用できません。臨時駐車場(花植木流通センター、JAふかや榑引支店)をご利用ください。当日は、JAふかや榑引支店から無料送迎バスを運行します。

深谷市
イメージキャラクター
ふっかちゃん
登場!



梅まつり

第11回 ふかや緑の王国
緑の王国

百種類を超える
梅の競演

雨天決行
3/2(土)3(日)
午前10時～午後3時
ふかや緑の王国

申し込みが必要なイベント

キッズガーデニング教室

対象 小学生以下

とき 3月3日(日)
午前11時～

定員 先着30人

参加料 500円

ツリーライミング体験

対象 小学生以上(大人も可)

とき 3月3日(日)
①午前10時～②午前11時～
③午後1時～④午後2時～

定員 各回先着8人

参加料 1,000円

※申し込みは2月7日(木)からふかや緑の王国へ

王国大抽選会

両日先着100人に深谷の花などが当たる抽選会を開催!

菜の花スープ・お餅の無料配布!(数量限定)

王国料理人による菜の花スープと、NPO法人『うるおいのまち』によるお餅の無料配布を両日とも開催。もちつき体験もできます。

その他、お茶会(有料)、琴の演奏、飲食物の販売、『緑の王国』オリジナル品の販売や体験イベントなど盛りだくさん!

4月27日(土)・28日(日)開催

第16回 ふかや花フェスタイベント参加者募集!

①ガーデニングコンテスト作品

①コンテナガーデン部門(50作品) = 縦横70cm以内、高さ自由、切り花以外で制作

②ハンギングバスケット部門(マスターの部・一般の部合計50作品) = 縦横70cm以内の壁掛けタイプ、切り花以外で制作

③オリジナル箱庭部門(30作品) = 主催者が用意する縦横52cmの箱を使用、高さは自由

申し込み 4月12日(金)まで

②ステージイベント出演者

①フラダンス部門

②キッズダンス部門

③その他部門

※各6団体程度募集

申し込み 2月25日(月)まで

※応募者多数の場合は抽選

③物品販売出店者

出店料 1コマ20,000円

応募要件 ①物品販売は、花苗や切り花、ガーデニング関連用品など、花フェスタの開催趣旨に反しないものに限る。

②飲食販売は、市民か市内で活動している法人・団体、または深谷商工会議所・ふかや市商工会に登録している業者に限る。

※①②とも地域経済の発展を重視し、市内業者を優先する。

申し込み 2月25日(月)まで

【①～③共通】

申し込みは電子メール(✉gardencity.fukaya.saitama.jp)、またはファクス(☎551-5552)でふかや緑の王国へ。

詳しくは、各募集要項(市役所・公民館・ホームページで入手可能)をご覧ください。

王国自然クラブメンバー募集

対象 市内の小学生(4月現在)

とき 1年間(原則毎月第1日曜日 午前9時～正午)

ところ ふかや緑の王国

定員 20人(応募者多数の場合は抽選)

※抽選日3月10日(日)午前10時～

申し込み 2月17日(日)～3月3日(日)

※参加希望者説明会を2月17日(日)①午前10時～②午後2時～の2回実施します。

詳しくは、ふかや緑の王国ホームページをご覧ください。

ふかや花フェスタ協賛企業募集

第16回ふかや花フェスタで実施するガーデニングコンテストの副賞や、会場装飾用の花苗などの協賛品をご提供いただける企業を募集します。協賛企業は、イベントチラシや会場内ステージなどでPRします。詳しくは、ふかや緑の王国へお問い合わせください。

『ガーデンシティふかや』『ふかや緑の王国』ホームページのほか、ツイッター(@garden5551)、『ふかや緑の王国』フェイスブックもご覧ください。

いいね!
No.59

深谷の授産製品

授産製品とは、障害のあるかたが作っている商品です。商品の他に作業なども提供しています。どれも高品質なものばかり!このコーナーでは、その良さをたっぷり紹介します!



フレンドセンターまきの木

☎584-4255

住所: 小前田2675-1



◀食品用の袋を再利用するために、テープやのりをはがしている様子。



▲季節の野菜をなるべく農業を使わずに育てています。



◀手作業で無漂白の自家製切り干し大根。

『良く働き、良く遊ぶ』ための支援

『フレンドセンターまきの木』は平成9年に開所した地域密着型の施設で、現在、知的障害のあるかたと精神障害のあるかたが生活介護と就労継続支援B型の支援を受けています。

『良く働き、良く遊ぶ』を基本理念にした支援を心掛けており、利用者に自分で選んでもらい、利用者一人ひとりがやりたいことをできるように支援をしています。

『農業』が作業の柱!

施設開所当初から『農業』を作業の柱にしており、白菜、人参、大根、ネギなどさまざまな種類の野菜を栽培しています。最近では、地域でも高齢化が進み、耕作できない農地が増えてきているため、そこを借りて栽培しています。



フレンドセンターまきの木 利用者の皆さん

地産地消を目標にしており、収穫された野菜はJA花園の農産物直売所などに出荷するほか、『福祉健康まつり』でも販売しています。

大好評!無漂白の『切り干し大根』

さまざまな野菜を栽培している中でも、特に大根は自家製の『切り干し大根』に加工し販売しています。無漂白のため、自然食品を扱うお店からの予約ですぐに完売してしまうほどの人気商品になっています。

どんな作業も特性を生かす

農業のほかにも、一人ひとりの特性によってさまざまな作業を分担しています。

食品用の袋を再利用する作業では、『袋を切る』、『テープをはがす』、『のりをはがす』など、また、プラスチック容器の検品では『不良品の分別』、『容器の仕分け』など、それぞれが自分の得意な作業を行い、のびのびと明るく作業しています。

施設でのさまざまな作業を通じて、障害があっても自分で稼いで暮らしていく事を目標に、能力に合わせたサポートをしています。